



《ゆり組の様子と今後の取り組みと育ちについて》

・身体的な成長

戸外遊びが大好きな子どもたちです。園庭でなにをして遊ぼうかな？と楽しみを持って遊んでいます。現在は、プール遊び、水遊びを、水の感触を体で感じながら、体を思いきり動かして遊ぶことが楽しくてたまらない様子が見られます。室内でもマットや鉄棒、平均台等で体を動かして遊ぶ機会を持ちながら、走る、跳ぶ、登る等、全身を使った遊びに挑戦し、のびのびと体を動かして遊び、楽しいと感じられることを大切にしながら、巧みな体の使い方の成長につなげていきたいと思っています。

・社会性の発達

お友達と遊ぶことの楽しさを感じるようになり、「一緒に遊ぼう」「貸して」等、言葉でのやりとりが増えてきました。その中で「楽しいね」「おもしろいね」「すごいね」等、友達同士で気持ちに共感し合う言葉も見られてきています。同じ遊びを楽しむ中で、些細なトラブルも見られますが、「〇〇ちゃんは、こうしたんだって」「〇〇ちゃんが貸してほしいって言っているよ」「〇〇ちゃんが終わったら貸してくれるって」等、気持ちを代弁することで、やりとりがさらに深まっているところです。

保育者や周りの大人が子どもの気持ちに寄り添い「悲しかったね」「嬉しかったね」「優しくしてくれたね」等、共感することで「自分の気持ちに気づく力」「安心感や自己肯定感」「気持ちを言葉で表す力」「人の気持ちに気づく力（思いやり）」等が育っていきます。日常の保育の中でも、気持ちに共感することを大切に、子どもたちとこれからも関わっていききたいと思っています。

「自分の気持ちに気づく力」→自分は今こう感じているんだと認識する力

「安心感や自己肯定感」→自分の気持ちを受け止めてもらえる経験を重ねることで、安心感や自分を大切に思う気持ちが育ちます。

「気持ちを言葉で表す力」→自分の気持ちを言葉で伝える力

「人の気持ちに気づく力」→自分の気持ちを受け止めてもらった経験があるからこそ、友達の気持ちにも気づき、寄り添おうとする心が芽生えていきます。

・思考力・探求心

「なんで？」「どうして？」「これなあに？」と、身の回りのいろいろなことに興味津々です。虫や花を見つけると、観察をしたり、保育者に教えてくれたりします。地域への園外保育等を通して、自分たちの住む地域の自然や人に触れ、地域への親しみや愛着心、探求心を育んでいきたいと思います。

・生活習慣の自立

「自分でやってみたい」という気持ちが芽生えてきました。着替えや片付け等、自分でできることは自分でやろうとする姿が増えてきています。見通しを持てるような言葉をかけていくことで、自分で積極的に取り組めるように配慮しています。その中で、自分でやろうとしている過程を認めていくことで、自信につながるように言葉をかけているところです。また、子どもたちへ「どうする？」と問いかけていくことで、自分で気が付き、着替えをしたり、水分補給をしたりする姿も見られています。「自分でやりたい！」という気持ちを大切にしながら、必要な時に保育者がさりげなく手を添え、「できた！」達成感を積み重ねていき、生活習慣のさらなる自立へつなげていきたいと思っています。





8月に入り、いよいよ夏本番です！元気よくプール遊びを楽しんだり、クワガタムシやトンボ、カエル等に興味津々だったり、野菜の生長に関心を持ったり…様々な場面で夏らしい経験を楽しんでいる子どもたちです！

暑さによる体力消耗や、長期のお休みを挟んだ生活リズムの変化等、子ども達の体調も変化しやすい時期です。園での生活の中でも、水分補給や休息の時間等、十分に取りながら暑い夏も元気に過ごしていきたいと思います。

泥遊びは、気持ちよさや不思議さを感じながら、手や足でさまざまな感触を味わうことで五感をたっぷり使って遊べる活動です。また、「どうしたらうまくできるかな？」と考えたり、友達と一緒に作ったりする中で、考える力や協力する気持ちも育っています。

水を運んで泥をやわらかくしたり、ケーキやドリンクを作ったり、川や池を作ったりと、子どもたちの発想はどんどん広がっています。

これからも、思い切り遊びながら「やってみたい!」「できた!」という気持ちを大切に、一人一人の成長につながる遊びを楽しんでいきたいと思います。



ストローを使った吹き絵で夏祭りのポスター制作に挑戦しました。「ふーっ!」と息を吹きかけると、絵の具がいろいろな方向へ広がり、「手みたい!」「花火みたいになったよ!」と、思い思いに見立てながら楽しむ姿が見られました。吹き絵では、息の強さや向きを自分で調整しながら取り組むことで、口や呼吸をコントロールする力や集中力が育まれます。また、絵の具がどのように広がるのかを楽しみながら、「次はこっちに吹いてみよう」「もっと優しく吹いてみよう」と試行錯誤することで、考える力や表現する力も育っています。



クラスでクワガタの飼育を始めました。子どもたちはケースをのぞき込み、「今日は起きてるよ」「ゼリーが少なくなってる!」と、クワガタの様子に興味深く観察しています。

飼育を通して、生き物を大切にする気持ちや思いやりが育っています。また、毎日の様子を見比べながら小さな変化に気付くことで、観察する力や「どうしてかな?」と考える探究心も育まれています。友達と発見したことを伝え合ったり、一緒に観察したりする中で、「見てみて!」「ここに隠れているよ」と、喜びを共有する姿も見られます。生き物とのふれあいを通して、命の大切さや身近な自然への興味・関心を深め、一人一人の「知りたい」「やってみたい」という気持ちを大切に育てていきたいと思います。

